

# 看護職員の労働実態調査 第1次中間報告

2005年10月26日  
日本医療労働組合連合会

日本医労連は、看護現場の実態を明らかにし、今後のとりくみに生かしていくため、現在、『看護職員の労働実態調査』にとりこんでいます。10月15日までに、看護職員17,108名分（全就業看護職員の1.3%強）が集約されており、「第1次中間報告」としてご報告するものです。

集約結果の特徴は第1に、看護現場がいつそう忙しくなり、労働条件が悪化していることです。「最近、看護業務量が増えた」という回答が62.1%に達しています。「終業時間後の仕事時間が1時間以上」が5年前の33.5%から42.2%に増え、「年次有給休暇の取得が年間5日未満」も5年前の20.8%から32.7%に大幅に増えるなどしています。

第2には、超過密労働の下で、患者のいのちと安全も脅かされていることです。「十分な看護が提供できている」という回答はわずか8.6%に止まり、その理由としては「人員が少なすぎる」54.1%、「業務が過密になっている」53.4%が抜きんでて高くなっています。そして、「この3年間にミスやニアミスを起こしたことがある」が86.0%にも達し、医療事故の原因としては「医療現場の忙しさ」が83.7%の高率であげられています。

第3には、看護職員が疲れ果て、退職などバーンアウト（燃え尽き）が進行するという看護師不足の悪循環に陥っていることです。平均年齢35.8歳という比較的若い集団でありながら、健康不安が64.8%、慢性疲労が77.5%にもなっています。「仕事をやめたいと思う」という回答が72.5%に達しています。やめたい理由は、「仕事が忙しすぎるから」35.8%、「仕事の達成感がないから」21.6%、「本来の看護ができないから」16.4%などです。

「第1次中間報告」の結果からも、看護現場はまさに異常な事態であり、配置人員の抜本改善をはじめとした緊急対策が必要なことが明らかです。そして、安全でゆきとどいた医療・看護を実現することが、切実な課題となっています。

十分な看護が提供できている	8.6%
この3年間のミスやニアミス	86.0%
医療事故の原因は医療現場の忙しさ	83.7%
人手不足で労働条件は確実に悪化（5年前との対比）	
最近、看護業務量が増えた	62.1%
終業時間後の仕事・1時間以上	33.5% 42.2%
年休の取得・年間が5日未満	20.8% 32.7% etc.
健康不安	64.8%
慢性疲労	77.5%
仕事をやめたいと思う	72.5%（5年前は64.5%）
やめたい理由は忙しさと達成感のなさ	

# 看護職員の労働実態調査 第1次中間報告

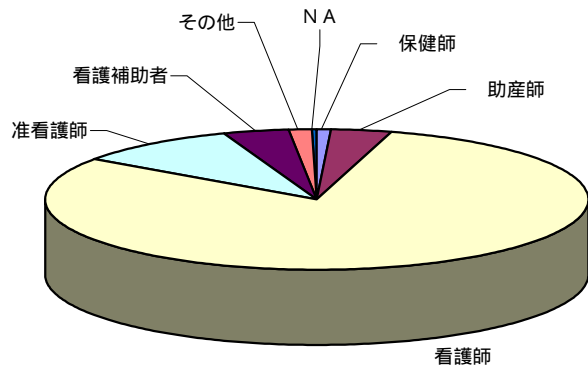
日本医労連集約・2005年10月15日現在

## 問1 職種

	人数	%	前回
保健師	128	0.7	0.5
助産師	656	3.6	3.6
看護師	14,585	80.5	76.6
准看護師	1,739	9.6	13.2
看護補助者	715	3.9	3.8
その他	246	1.4	0.9
N A	52	0.3	1.4
計	18,121	100.0	100.0

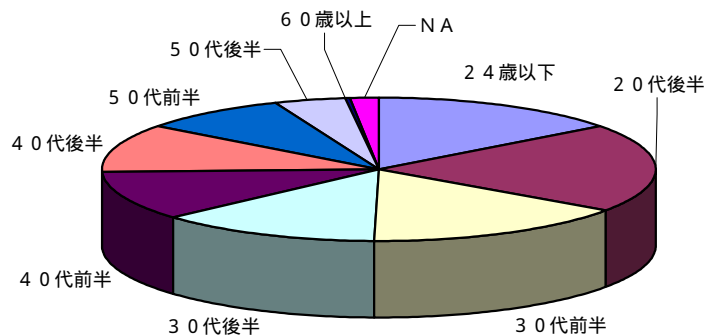
注1) 本調査は、「看護職員の労働実態調査」であり、問1以外の設問はすべて、~の看護職員のみを対象に集計した

注2) 「前回」とは、2000年に実施した「看護現場実態調査」における率である。以下もすべて同じ。



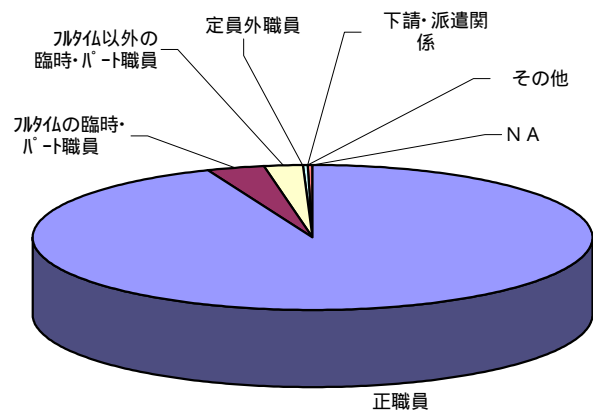
## 問2 年齢

	人数	%	前回
24歳以下	2,512	14.7	17.9
20代後半	3,425	20.0	21.2
30代前半	2,687	15.7	13.3
30代後半	2,192	12.8	12.0
40代前半	1,928	11.3	12.8
40代後半	1,867	10.9	11.4
50代前半	1,447	8.5	7.4
50代後半	719	4.2	3.0
60歳以上	57	0.3	0.3
N A	274	1.6	0.8
計	17,108	100.0	100.0
平均年齢	35.8歳		35.1歳
最高	65歳		69歳
中位	34歳		33歳
最低	19歳		20歳



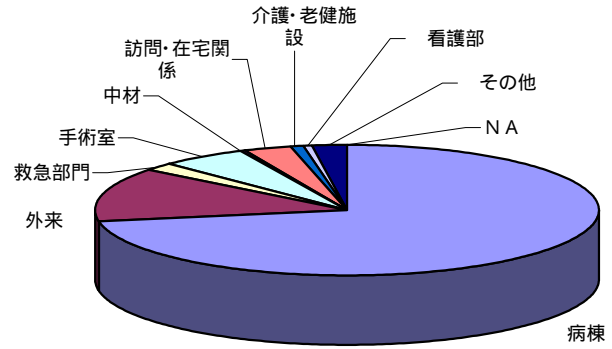
## 問3 雇用形態

	人数	%	前回
正職員	16,044	93.8	92.0
フルタイムの臨時・パート職員	602	3.5	1.7
フルタイム以外の臨時・パート職員	390	2.3	0.7
定員外職員	9	0.1	1.5
下請・派遣関係			0.0
その他	42	0.2	0.1
N A	21	0.1	4.0
計	17,108	100.0	100.0



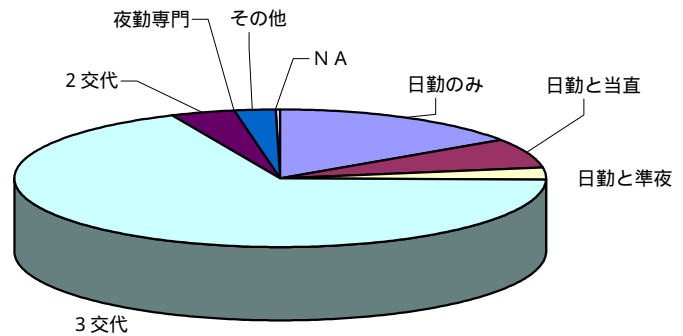
問4 職場

	人数	%	前回
病棟	12,356	72.2	74.8
外来	2,258	13.2	11.7
救急部門	358	2.1	1.5
手術室	955	5.6	4.2
中材	25	0.1	0.2
訪問・在宅関係	540	3.2	1.1
介護・老健施設	124	0.7	
看護部	101	0.6	0.6
その他	375	2.2	1.9
NA	16	0.1	4.1
計	17,108	100.0	100.0



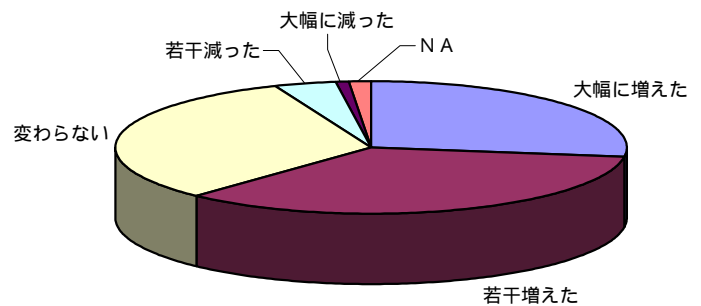
問5 勤務形態

	人数	%	前回
日勤のみ	2,659	15.5	9.4
日勤と当直	1,167	6.8	6.6
日勤と準夜	504	2.9	
3交代	11,642	68.1	69.5
2交代	654	3.8	7.5
夜勤専門	12	0.1	0.0
その他	445	2.6	2.7
NA	25	0.1	4.2
計	17,108	100.0	100.0



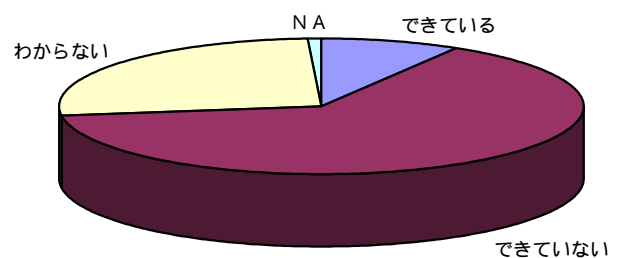
問6 看護業務量

	人数	%	前回
大幅に増えた	4,667	27.3	54.5
若干増えた	5,951	34.8	
変わらない	5,438	31.8	37.2
若干減った	689	4.0	2.8
大幅に減った	103	0.6	
NA	260	1.5	5.4
計	17,108	100.0	100.0
再掲・増えた(+)	10,618	62.1	54.5



問7 十分な看護の提供

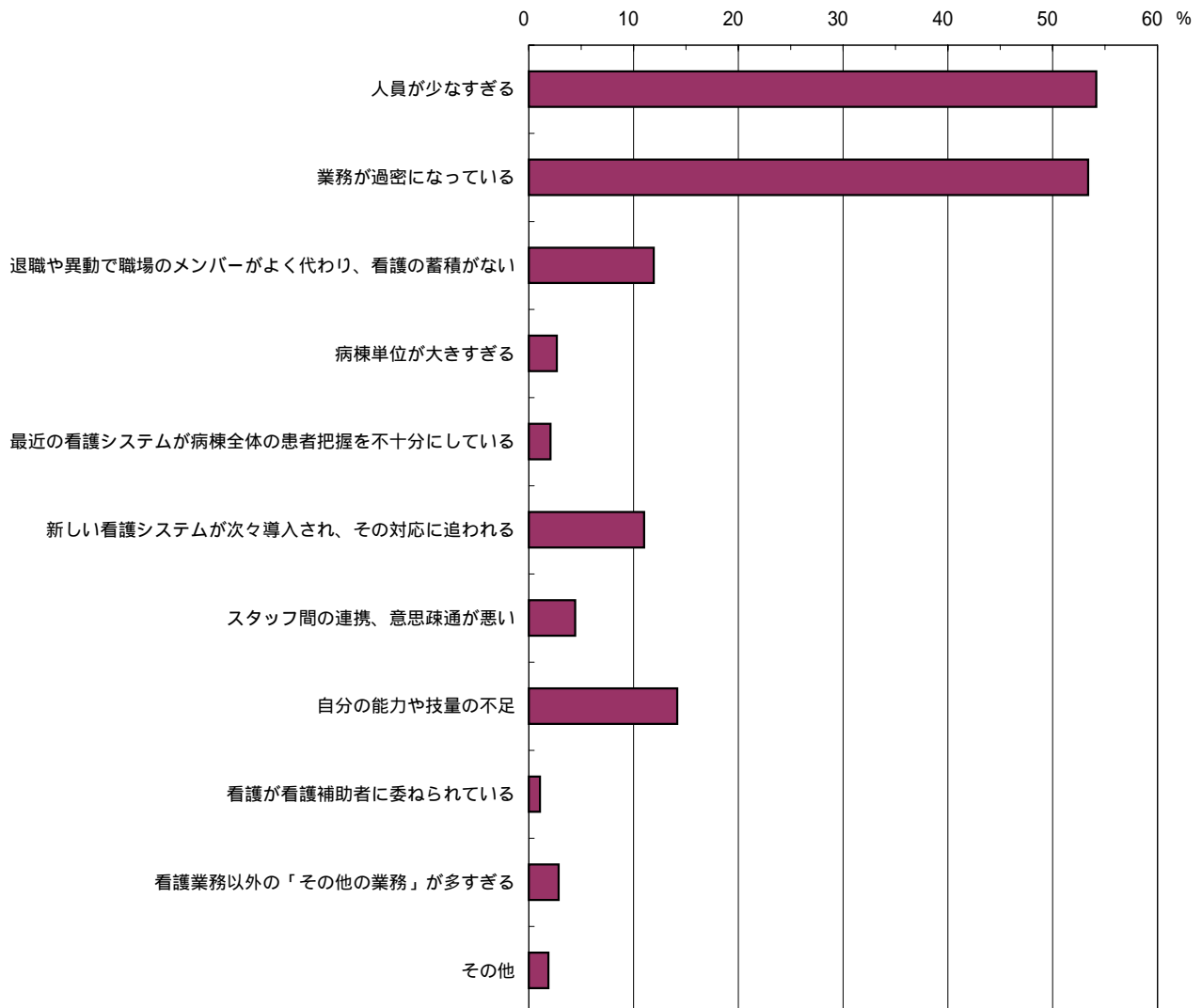
	人数	%	前回
できている	1,467	8.6	7.7
できていない	10,988	64.2	53.6
わからない	4,521	26.4	33.2
NA	132	0.8	5.5
計	17,108	100.0	100.0



## 問8 できていない理由(2つまで選択可)

	人数	%	前回
人員が少なすぎる	5,949	54.1	65.4
業務が過密になっている	5,865	53.4	62.7
退職や異動で職場のメンバーがよく代わり、看護の蓄積が	1,308	11.9	7.4
病棟単位が大きすぎる	290	2.6	3.7
最近の看護システムが病棟全体の患者把握を不十分に	225	2.0	5.0
新しい看護システムが次々導入され、その対応に追わ	1,207	11.0	7.4
スタッフ間の連携、意思疎通が悪い	483	4.4	4.9
自分の能力や技量の不足	1,553	14.1	16.1
看護が看護補助者に委ねられている	114	1.0	0.9
看護業務以外の「その他の業務」が多すぎる	308	2.8	20.0
その他	203	1.8	0.9
NA	545	5.0	0.7
対象者数	10,988		

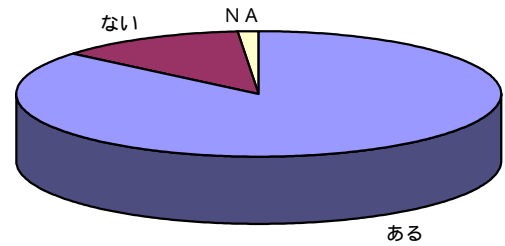
注)この設問の対象者は、問7で「できていない」と回答した人。なお、前回は「強い理由から3つまで選択可」という設定だったので、強い理由から2つまでで集計し直して示した。比較にあたっては、その点の考慮が必要



問9 この3年間のミスやニアミス

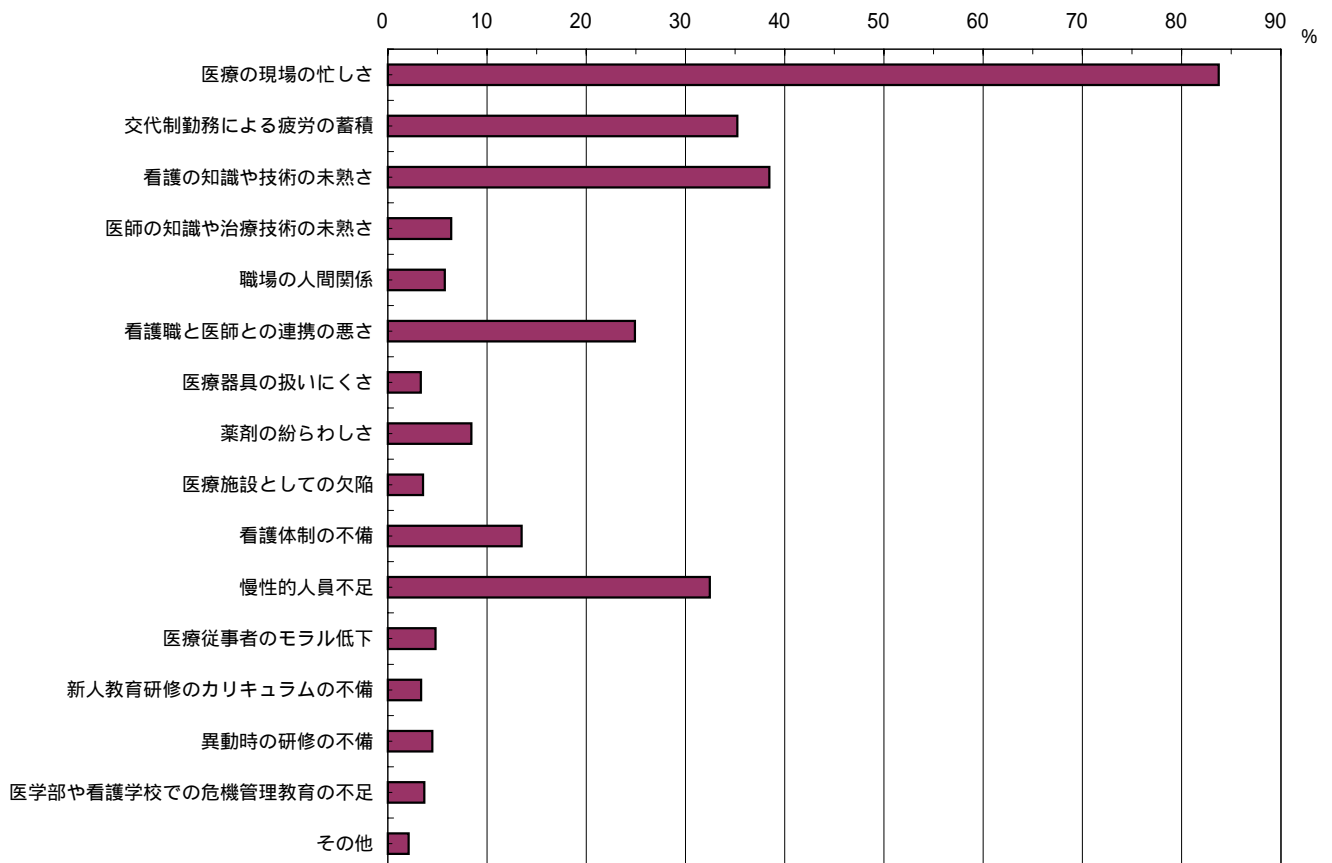
	人数	%	前回
ある	14,720	86.0	91.0
ない	2,128	12.4	6.0
N A	260	1.5	3.0
計	17,108	100.0	100.0

注) 前は、「3年間」の限定ではなく、単純に「今までにあるか」という設問だった



問10 医療事故が続発している原因 (3つまで選択可)

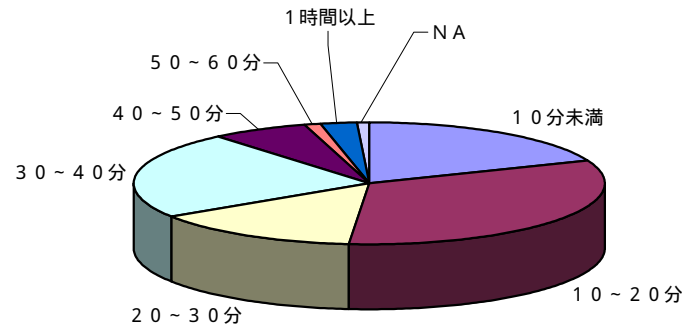
	人数	%	前回
医療の現場の忙しさ	14,319	83.7	82.4
交代制勤務による疲労の蓄積	6,020	35.2	40.2
看護の知識や技術の未熟さ	6,571	38.4	35.6
医師の知識や治療技術の未熟さ	1,085	6.3	6.3
職場の人間関係	976	5.7	4.9
看護職と医師との連携の悪さ	4,255	24.9	22.4
医療器具の扱いにくさ	561	3.3	3.4
薬剤の紛らわしさ	1,435	8.4	9.6
医療施設としての欠陥	599	3.5	1.9
看護体制の不備	2,299	13.4	13.1
慢性的人員不足	5,549	32.4	30.5
医療従事者のモラル低下	815	4.8	6.8
新人教育研修のカリキュラムの不備	567	3.3	3.0
異動時の研修の不備	762	4.5	2.2
医学部や看護学校での危機管理教育	622	3.6	3.6
その他	352	2.1	2.0
N A	297	1.7	3.0
対象者数	17,108		



問11 始業時間前の労働（前残業）

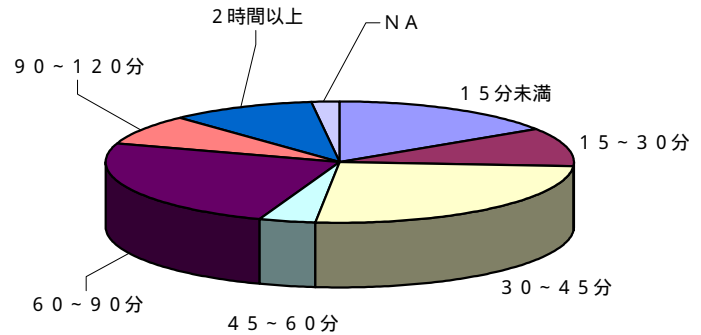
	人数	%	前回
10分未満	3,241	19.0	25.0
10～20分	5,548	32.5	37.1
20～30分	2,443	14.3	13.1
30～40分	3,982	23.3	18.4
40～50分	1,115	6.5	2.8
50～60分	206	1.2	0.4
1時間以上	415	2.4	0.9
NA	146	0.9	2.2
計・対象者数	17,096	100.0	100.0
平均時間	19.5分		16.0分
再掲・30分以上	5,718	33.4	22.5

注)「日勤時に始業時間より平均的に何分前に仕事に就いているか」という設問なので、日勤のない夜勤専門は除いて集計した。問12も同様。



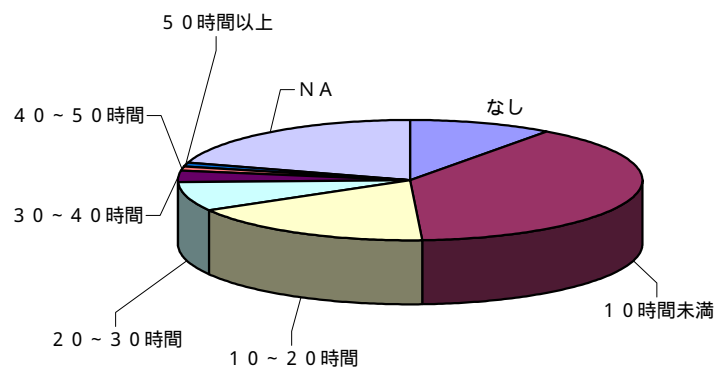
問12 終業時間後の労働（後残業）

	人数	%	前回
15分未満	2,716	15.9	16.5
15～30分	1,745	10.2	13.1
30～45分	4,384	25.6	29.7
45～60分	674	3.9	3.0
60～90分	4,170	24.4	22.1
90～120分	1,368	8.0	5.8
2時間以上	1,685	9.9	5.6
NA	354	2.1	4.3
計・対象者数	17,096	100.0	100.0
平均時間	48.3分		41.2分
再掲・1時間以上	7,223	42.2	33.5



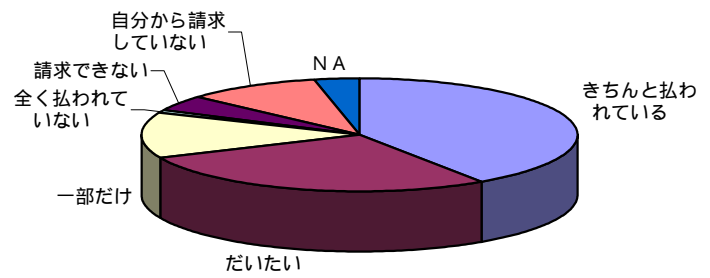
問13 先月の残業時間

	人数	%	前回
なし	1,708	10.0	9.9
10時間未満	6,720	39.3	41.4
10～20時間	2,954	17.3	19.2
20～30時間	1,345	7.9	7.8
30～40時間	544	3.2	3.2
40～50時間	184	1.1	1.3
50時間以上	194	1.1	0.9
NA	3,459	20.2	16.3
計	17,108	100.0	100.0
平均時間	9.5時間		9.0時間
再掲・20時間以上	2,267	13.3	13.2



問14 残業代

	人数	%	2004年
きちんと払われている	6,935	40.5	33.3
だいたい	4,776	27.9	25.9
一部だけ	2,195	12.8	14.7
全く払われていない	178	1.0	3.7
請求できない	741	4.3	5.7
自分から請求していない	1,698	9.9	12.5
NA	585	3.4	4.4
計	17,108	100.0	100.0

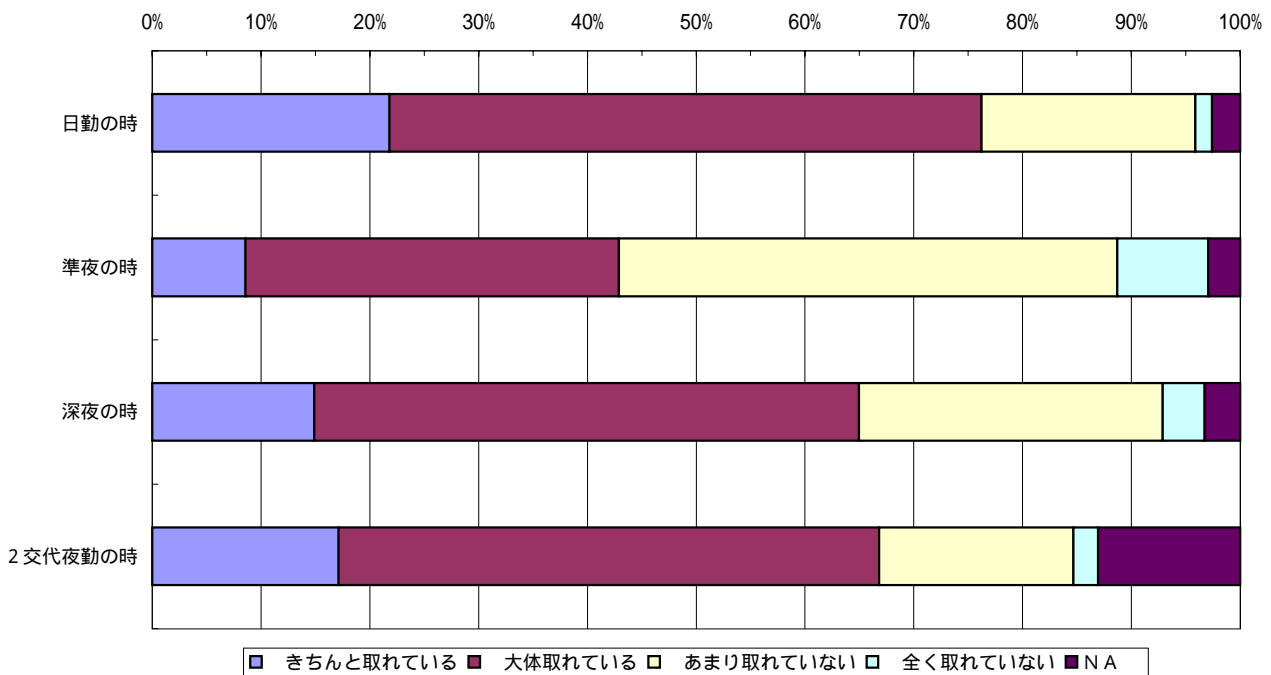


注)「2004年」とは、昨年実施した「退勤時間調査」の「サンプル集計結果」における率のこと

問15 休憩時間

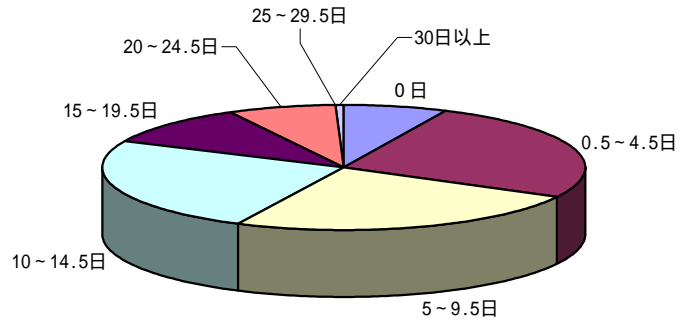
	日勤の時		準夜の時		深夜の時		2交代夜勤の時	
きちんと取れている	3,727	21.8	1,042	8.6	1,736	14.9	114	17.1
大体取れている	9,305	54.4	4,172	34.3	5,836	50.1	331	49.7
あまり取れていない	3,360	19.7	5,571	45.8	3,252	27.9	119	17.9
全く取れていない	260	1.5	1,016	8.4	448	3.8	15	2.3
NA	444	2.6	357	2.9	382	3.3	87	13.1
計・対象者数	17,096	100.0	12,158	100.0	11,654	100.0	666	100.0

注)問5・勤務形態から、その勤務がある者だけを対象にして集計した



問16 年次有給休暇の昨年取得日数

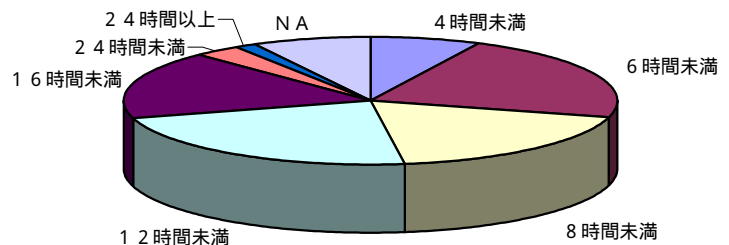
	人数	%	前回
0日	884	7.0	4.1
0.5～4.5日	3,250	25.7	16.7
5～9.5日	3,091	24.4	24.2
10～14.5日	3,143	24.8	25.8
15～19.5日	1,295	10.2	14.8
20～24.5日	908	7.2	12.1
25～29.5日	29	0.2	0.9
30日以上	56	0.4	1.4
計・回答者数	12,656	100.0	100.0
平均取得日数	8.2日		10.4日
再掲・5日未満	4,134	32.7	20.8



注)現在の病院等に2004年1月以前に就職した人のみを対象とした設問であり、対象者数が不明のため、回答者数をもって率を計算した

問17 先月最も短かった勤務間隔

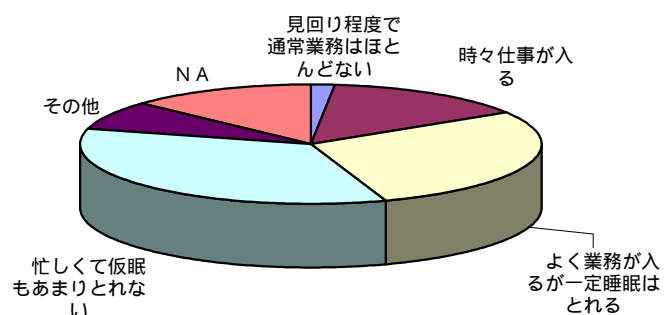
	人数	%	夜勤・当直者のみ	前回
4時間未満	1,218	7.1	1,150	8.2
6時間未満	3,754	21.9	3,614	25.9
8時間未満	3,203	18.7	2,960	21.2
12時間未満	3,896	22.8	3,122	22.3
16時間未満	2,946	17.2	1,844	13.2
24時間未満	536	3.1	290	2.1
24時間以上	246	1.4	159	1.1
N A	1,309	7.7	840	6.0
計	17,108	100.0	13,979	100.0
再掲・8時間未満(～)	8,175	47.8	7,724	55.5



注)前回は、夜勤・当直勤務のある者だけへの設問だったため、「夜勤・当直者のみ」の集計もおこない、前回と比較した

問18 当直時の仕事

	人数	%	前回
見回り程度で通常業務は時々仕事が入る	19	1.6	3.0
よく業務が入るが一定睡眠はとれる	169	14.5	12.6
忙しくて仮眠もあまりとれない	335	28.7	30.3
その他	402	34.4	32.5
その他	90	7.7	7.2
N A	152	13.0	14.5
計・対象者数	1,167	100.0	100.0

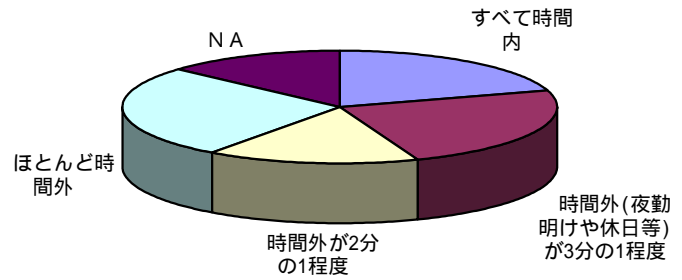


注)当直勤務のある人のみを対象に集計した



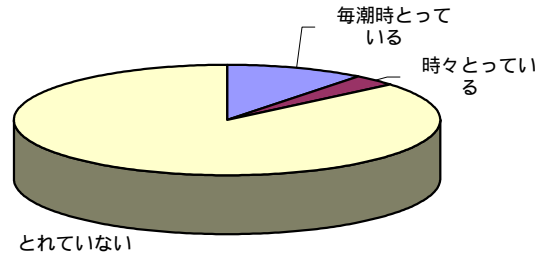
問19 委員会・研修の開催

	人数	%	前回
すべて時間内	3,483	20.4	26.0
時間外(夜勤明けや休日等)	4,062	23.7	16.8
時間外が2分の1程度	2,706	15.8	12.9
ほとんど時間外	4,584	26.8	22.4
NA	2,273	13.3	21.9
計	17,108	100.0	100.0



問20 生理休暇の取得

	人数	%	前回
毎潮時とっている	1,571	10.6	4.5
時々とっている	491	3.3	3.6
とれていない	12,760	86.1	91.9
計・回答者数	14,822	100.0	100.0

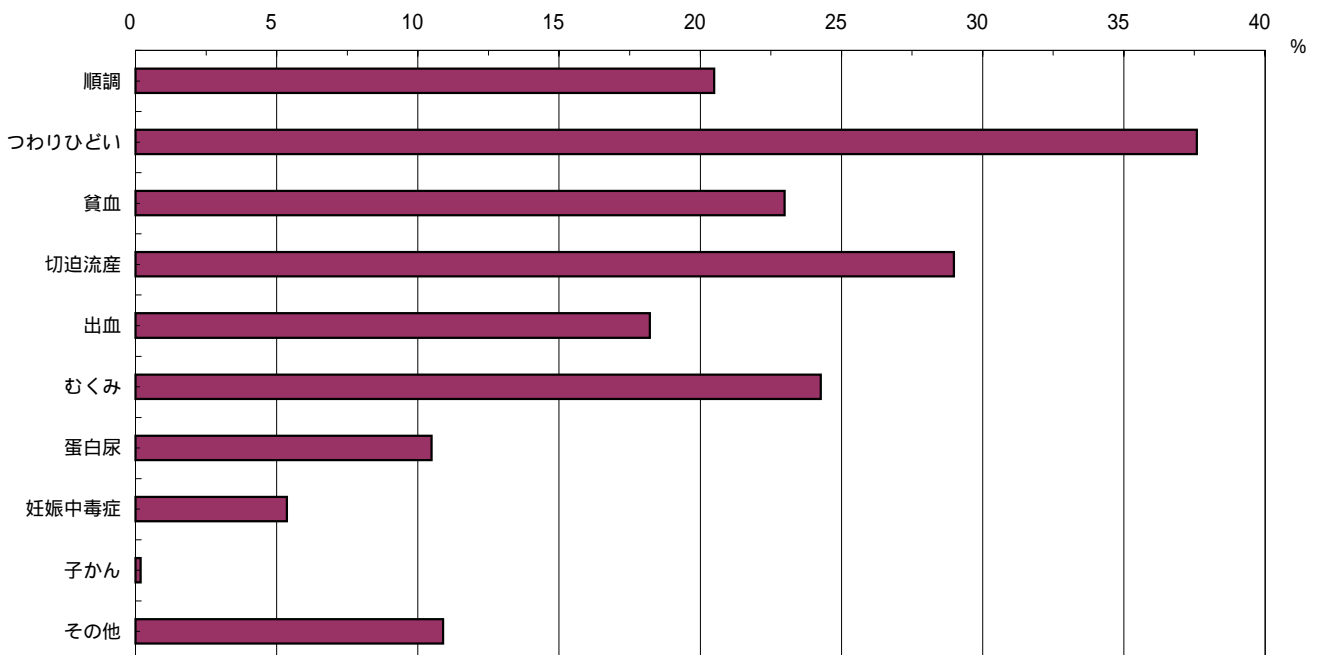


注) 今回は性別を聞く設問を設けなかったため、回答者数で集計した

問21 妊娠の状況 (該当項目はすべて選択)

	人数	%	前回
順調	352	20.5	16.9
つわりひどい	646	37.6	38.2
貧血	395	23.0	36.8
切迫流産	498	29.0	31.9
出血	313	18.2	22.6
むくみ	417	24.3	32.3
蛋白尿	180	10.5	16.9
妊娠中毒症	92	5.4	7.0
子かん	3	0.2	0.5
その他	187	10.9	11.2
回答者数	1,719		

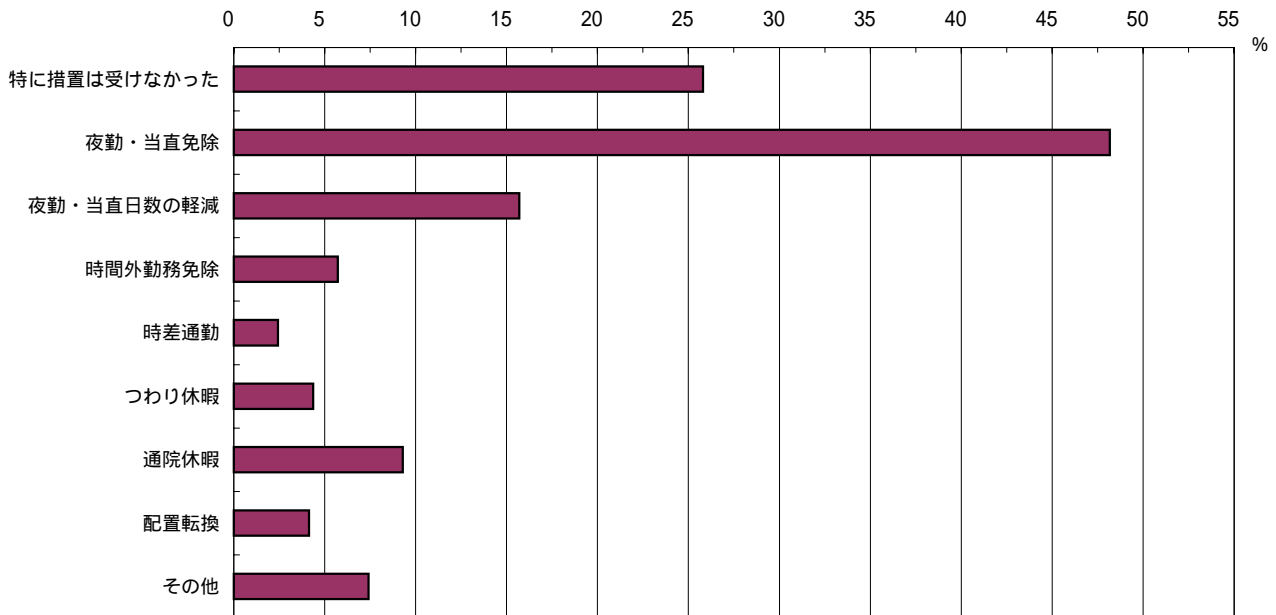
注) 2002年4月以降に妊娠・出産した人のみを対象にした設問



問22 妊娠時に受けた保護・支援措置（該当項目はすべて選択）

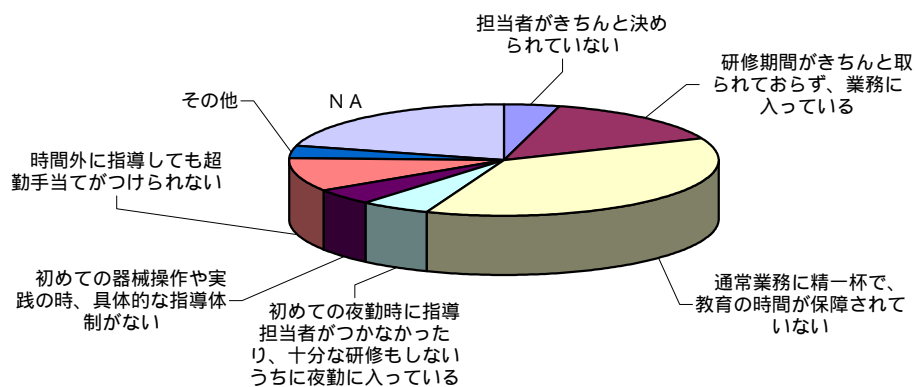
	人数	%	前回
特に措置は受けなかった	439	25.8	20.5
夜勤・当直免除	820	48.2	60.0
夜勤・当直日数の軽減	267	15.7	20.5
時間外勤務免除	97	5.7	7.3
時差通勤	41	2.4	4.2
つわり休暇	74	4.3	4.5
通院休暇	158	9.3	8.6
配置転換	70	4.1	7.5
その他	126	7.4	4.9
回 答 者 数	1,703		

注) 2002年4月以降に妊娠・出産した人のみを対象にした設問



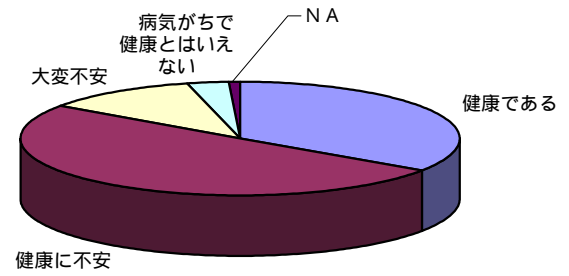
問23 新人教育で最も問題だと思うこと

	人数	%
担当者がきちんと決められていない	714	4.2
研修期間がきちんと取られておらず、業務に入っている	2,468	14.4
通常業務に精一杯で、教育の時間が保障されていない	6,371	37.2
初めての夜勤時に指導担当者がつかなかったり、十分な研修もしないうちに夜勤に入っている	904	5.3
初めての器械操作や実践の時、具体的な指導体制がない	824	4.8
時間外に指導しても超勤手当がつけられない	1,651	9.7
その他	607	3.5
N A	3,569	20.9
計	17,108	100.0



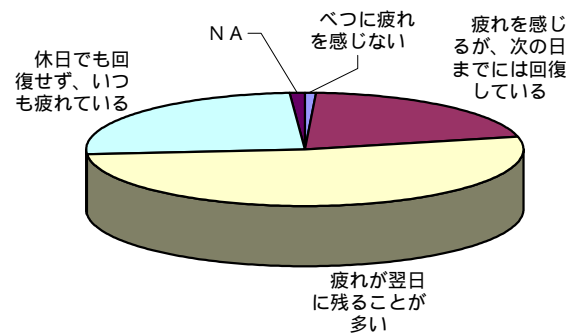
問24 健康状態

	人数	%	前回
健康である	5,875	34.3	28.7
健康に不安	8,611	50.3	54.0
大変不安	1,964	11.5	11.5
病気がちで健康とはいえない	509	3.0	2.9
NA	149	0.9	2.8
計	17,108	100.0	100.0
再掲・健康不安( ~ )	11,084	64.8	68.5



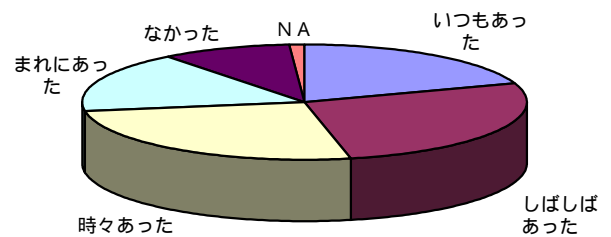
問25 疲れの回復具合

	人数	%	前回
べつに疲れを感じない	155	0.9	0.8
疲れを感じるが、次の日までには回復せず、いつも疲れている	3,495	20.4	19.6
疲れが翌日に残ることが多い	8,963	52.4	53.0
休日でも回復せず、いつも疲れている	4,295	25.1	23.7
NA	200	1.2	3.0
計	17,108	100.0	100.0
再掲・慢性疲労( ~ )	13,258	77.5	76.7



問26 仕事をやめたいと思うこと

	人数	%	前回
いつもあった	3,369	19.7	16.0
しばしばあった	4,597	26.9	23.1
時々あった	4,433	25.9	25.4
まれにあった	2,889	16.9	18.7
なかった	1,608	9.4	12.2
NA	212	1.2	4.5
計	17,108	100.0	100.0
再掲・やめたいと思う( ~ )	12,399	72.5	64.5



## 問27 仕事をやめたいと思う理由

	人数	%	前回
仕事の達成感がないから	2,679	21.6	31.3
本来の看護ができないから	2,035	16.4	29.4
医療・看護の高度化についていけないから	1,186	9.6	17.3
仕事が忙しすぎるから	4,441	35.8	54.3
夜勤が辛いから	1,707	13.8	24.8
休暇が取れないから	1,263	10.2	21.8
賃金が安いから	1,413	11.4	17.9
病気がち、健康不安だから	509	4.1	6.6
人間関係が楽しくないから	1,175	9.5	17.1
上司と合わないから	460	3.7	7.2
家族に負担をかけているから	1,184	9.5	14.8
子供がほしいから	122	1.0	1.7
家族の介護のため	112	0.9	1.2
その他	739	6.0	6.8
NA	278	2.2	3.6
対象者数	12,399		

注)この設問の対象者は、問26で「～」と回答した人で、「2つまで回答可」という設定。なお、前回は「3つまで選択可」という設定だったので、今回との単純比較はできないが、参考資料として前回の率も示した。また、今回は「2つまで選択可」という設定だったが、アンケート用紙の印刷ミスで、回答欄が一つしかなかったため、1つしか選択しなかった人が多かったことを、お詫びし、ご報告させていただく

